

マーケットの動き（2020年7月20日～7月24日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。
週前半は、欧州連合（EU）首脳会議における復興基金案の合意が好感され上昇しましたが、週後半は、米国失業保険申請件数の16週ぶりの増加、米国の追加経済対策決定の遅れ、マイクロソフトのクラウド事業成長率鈍化、薬価引き下げを求める大統領令への署名が市場心理を悪化させ、下落に転じました。
欧州株式市場もおおむね米国株式市場と連動する推移となりました。

投資環境見通し（2020年7月）

外国株式相場は一進一退の動き

外国株式相場は、すでに世界景気回復に対する楽観的な見方を織り込んだとみられ、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感が上値をおさえる一方、経済活動再開ともなう経済指標の改善や追加の財政政策に対する期待に支えられ、一进一退の動きが続くとみています。

中央銀行の緩和的な金融政策に支えられる中、投資家の注目は2020年下期以降の景気回復ペースに移ると考えられます。

	7月24日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,215.63	▲0.28%	5.42%	▲2.42%	6.49%
NYダウ	26,469.89	▲0.76%	4.02%	▲8.69%	▲2.93%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

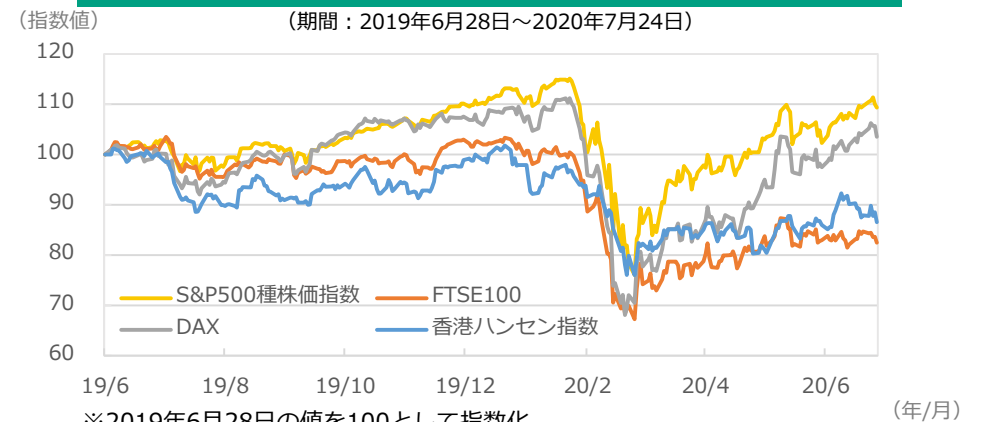
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202007_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2019年6月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成